

品川支部

令和八年8月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel. 3442-7075

8月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

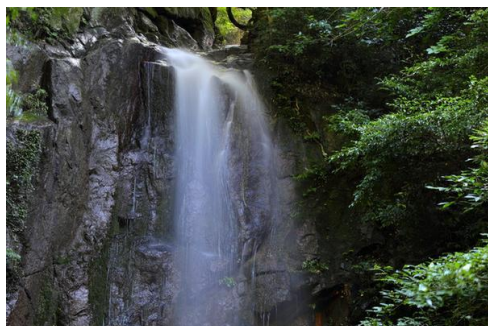
熱中症に気をつけて 夏はおちば帰り

夏は家族揃っておちば帰り このところの異常な暑さも朝づとめはとてもさわやか
奈良盆地に位地するおちばは朝昼の気温が十度も違ってきます

今の時期は朝づとめは五時半からです 六月の一番早い時より三十分遅く
なってきました タづとめは十五日までは七時十五分そのあとは七時になります
こどもおちばかえりの賑やかさと、その後は対照的にしずかなおちばです
熱中症対策をして百四十年祭の夏のおちばを満喫しましょう
周辺の探索も夏ならではの少し足を伸ばすのもあります



天理観光農園:山辺の道



桃尾の滝:天理ダム近く



黒塚古墳:柳本 夏休み研究に

天理周辺の探索

☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会

八月九日(日)午後六時

都南分教会にて

・支部例会&夏フェスタ

三ツ木分教会会場

八月三十日(日)十一時から

※二頁に詳細掲載

教区百四十年祭活動「みんなでのきしん」

大井在宅介護センターでのきしん

二十八日九時半から

神名流し、ゴミ拾いのきしん

今月はありますのでご注意ください

・教区ひのきしん

今月は有りません

☆教務支庁からのお知らせ

・天理教式葬儀、参列者の手引き

二年ほど前から天理教の葬儀の仕方についての大麻行事や玉串奉獻等の変更がありました
教区では参列者の手引きとして従来の印刷物を保持しております 前述の玉串等の作法等が書かれている箇所が本部推奨の物と差異が由来しましたですが、他の部分は十分参考になり活用できるものです
必要があれば希望数に満たされるまで無償で頂けるとのこと
入り用の方はお申し込み下さい

・本部「一れつ会」

・天理教一れつ会とは

昭和三年十月十八日、中山正善
天理教二代真柱がご自身の結婚の
時に頂かれたお祝金のすべてを基
金として拠出され創設されました。
その趣旨は、次のとおりです。

・布教ひとすじに通る天理教布教師が、子どもの教育(とくに基礎的判断を培う時期の高校教育)に心配することなく布教活動に専念できるよう、また、その子どもも親同様に陽気ぐらし世界建設のようばくに育ってもらいたい。
・親神様からお与え頂いている徳、素質を十分伸ばしてやりたい。
・冠婚葬祭に際しての虚礼を廃止したい。
こうした趣旨に賛同して寄せられた寄付金を以て扶育を実施すること、信仰伝承の手助けをし、次代を担う若人を教祖ひながたを辿るようばくに育成することを目的としています
*一れつ会HPより抜粋
一れつ会申し込みについて
一れつ会扶育生の申し込み方法が昨年より変わっています
詳細及び扶育願書は一れつ会ホームページからダウンロードして記入の上レターパックライトでの送付受付をすることになります

拠点教会	5日号	12日号	26日号19号合併
日本橋	直送	直送	直送
水豊田	直送	直送	直送
三ツ木	直送	直送	直送
南泰	直送	直送	直送
本荏	直送	直送	直送

時報手配り八月予定

八月は全て郵送で十九日号は休刊で二十六日号と合併になります

品川支部例会&夏フェスタ

令和八年八月三十日 (日)
場所 三ツ木分教会

内容 座りづとめ よろづよ八首 八下目
当該山中教会長挨拶

(白足袋ハッピー着用)

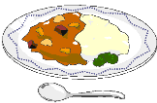
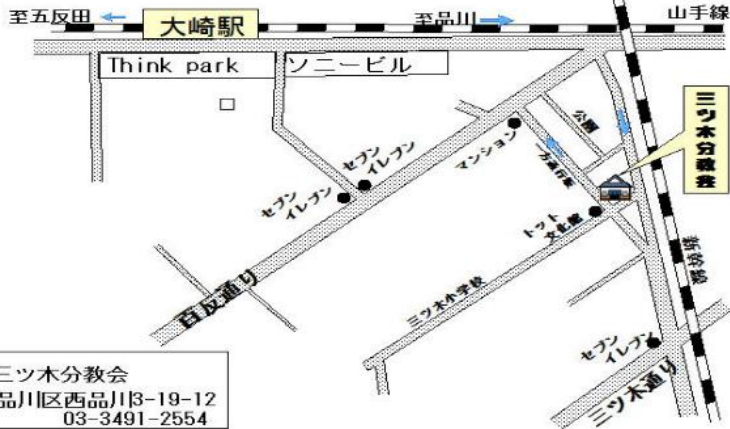
おつとめとお話の後は

夏フェスタ

みんなで来てね

11時半頃(例会終了後)から
夏休みの終わりに
食べて・あそんで

婦人会・少年会主催



にをいがけ



少し先の話になりますが、毎年九月は「にをいがけ強調の月」として、全教がより活発な布教実働を目指す月です。中でも、二十八日から三十日は「全教一斉にをいがけデー」として、年に一度、系統を越えて、教会長・布教所長・ようぼく・信者がお互いに力を合わせ、一手一つの勢いをもってつとめます。

品川支部では、毎年二十八日午前十時に五反田駅、大井町駅、西大井駅の各駅前にて、同時刻に神名流し、路傍講演、リーフレット配布を行なっております。支部内のように、信者の皆さまにも、ぜひ多くの人が勇んでご参加いただけたらと思っております。

神名流し、路傍講演、個別訪問などの直接的なをいがけは、最初に一步を踏み出すまで勇気がいります。しかし、我々お道のようぼく・信者は、常日頃に親神様の教え、教祖のひなごに触れて、信仰を持たない人とは違った言動を、多少なりとも自然としているのではないのでしょうか。そういった何気ない仕草や行いが、他の人に好感をもってもらえば、不思議と間接的なをいがけに繋がっていくと思います。私は、会長のご用を勤めながらコンビニで働いております。ある時、常連のお客様との会話で、自分は天理教の教会長をしていると話したら、「他の従業員さんとは何かが違うと思っただけで、それで分かった」と仰っしゃられました。ちょっとした仕草や言動が違って、気遣いが出来るかと褒めていただいたことがあり、実践する私自身の匂いとなって、伝わったのです。

二代真柱様は、天理教とはどのような教えですかと尋ねられた時、私を見てくださいとお答えになったと聞いております。教えを素直に実践し、ほこりを払い、心を澄ましていけば、良い匂いを発して、自然と周りの方から寄ってくるのかもしれない。直接的なをいがけは大事ですが、難しく考えずに、日々の心遣いを大切に、各々が自分にあった、出来る範囲でのをいがけを、させていただければ良いのではないかと思います。また私共の蒲生大教会では、「伝えるから、伝わる」という目標を掲げ、にをいがけに限らず、誰に対してもただ言った、伝えたという一方的なことではなく、相手に伝わる、理解してもらえるように努力しようとしております。

私をよく、身近な人に話しかけていた時、「言ったよ」と、責めを相手に負わせてしまうことがあります。でも、相手がちゃんと受け取って理解していないのであれば、言った側にも落ち度があります。投げっぱなしの言葉ではなく、相手の視線にたって、分かり易く、優しい言葉で伝えるように、自らが低い心になるよう努めなければと、猛省することばかりです。年祭をつとめ終え、現在は平常時の動きとなりましたが、真柱様が仰っしゃられたように、この三年間の歩みが振り出しに戻ってしまわないように、活動を継続し、それぞれの教会の次の進めに向けて、さらなる前進を目指し、共に勇進したいと思っております。猛暑、酷暑の中ではご迷惑ですが、お体を大切にお過ごしください。

三ツ木分教会会長
山中清明